

(19)日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平10-98984

(43)公開日 平成10年(1998)4月21日

(51)Int.Cl.
A 01 K 85/00

識別記号

F I
A 01 K 85/00

B

審査請求 有 請求項の数2 OL (全5頁)

(21)出願番号 特願平8-254857

(22)出願日 平成8年(1996)9月26日

(71)出願人 595111284

有限会社新宿教育会館
東京都新宿区西新宿7丁目22番43号

(72)発明者 内海 一夫

東京都新宿区西新宿7丁目22番43号 有限
会社新宿教育会館内

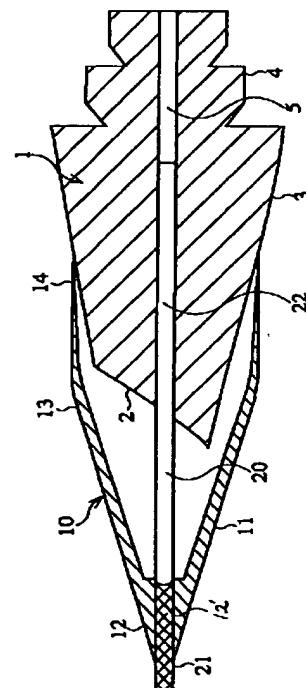
(74)代理人 弁理士 酒井 一

(54)【発明の名称】 ルアースカート装着用アダプター

(57)【要約】

【課題】ルアーヘッドに対するスカートの装着を容易なものとし得るルアースカート装着用アダプターを提供する。

【解決手段】ルアーヘッド1のテール部4に対しスカート30を装着する際に補助的に用いるアダプター10であって、前方へ次第に縮径する円錐カップ状で定形性を有するアダプターボディ11と、アダプターボディ11の頂部12から後方へボディ11と同芯状に延長し、ルアーヘッド1のリーダーライン挿通用の穴5に挿入可能な芯棒20を備える。アダプター10をルアーヘッド20に前方から接続させた後、裏返しにしたスカート30のテール被覆部31を頂部12から通して、本体側部13によって被覆部31の内径を拡大させた後、ヘッド側部3へと移し渡すようにしてスカート30をテール部4に装着する。



1

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ルアーヘッドのテール部に対しスカートを装着する際に補助的に用いるアダプターであって、前方へ次第に縮径する円錐カップ状で定形性を有するアダプター本体を備え、このアダプター本体を前記ルアーヘッドの前方から当該ルアーヘッドに被せることによって固定的に接続可能としたことを特徴とするルアースカート装着用アダプター。

【請求項2】 ルアーヘッドのテール部に対しスカートを装着する際に補助的に用いるアダプターであって、前方へ次第に縮径する円錐カップ状で定形性を有するアダプター本体と、前記アダプター本体の頂部から後方へ当該アダプター本体と同心状に延長し、前記ルアーヘッドのリーダーライン挿通用の穴に挿入可能な芯棒とを備え、前記アダプター本体を前記ルアーヘッドの前方から当該ルアーヘッドに被せるか及び／又は前記芯棒を前記穴に挿入することによって固定的に接続可能としたことを特徴とするルアースカート装着用アダプター。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明が属する技術分野】本発明はルアースカート（トローリングスカート）装着用アダプターに関し、更に詳細には、トローリング等のルアーフィッシングに疑似餌として用いるルアーのルアーヘッド（カブラ）に対し、タコベイトやイカベイト等のスカートを装着する際に補助的に使用するアダプターに関する。

【0002】

【従来の技術】ルアー用スカート（30）は、図3に示すように、ルアーヘッド1のテール部4を被覆して当該スカート30をヘッド1に連結させる環状のテール被覆部31と、この被覆部31から後方へ吹き流し状に連続する吹き流し部32とからなる主にゴム製又はビニール製のものであり、吹き流し部32によってルアーノミーを一層活動的に見せ掛けて対象魚の目を引き付けると共に、針（図示せず。）を対象魚から隠す役割を果たす。

【0003】また、使用時にスカート30がルアーヘッド1から外れないようにテール部4は後方に向かって外径が拡大し、その拡大が二段となるダブルテール（図3等参照）の他、一段となるシングルテール（図5参照）とされる一方、スカート30は非装着時におけるテール被覆部31の開口内径がテール部4の最外径に比べて遙かに小さくなるものが選択され、これによって装着時のテール部4に対する弾性的な締付け力を向上させて連結を強固としている。

【0004】従って、スカート30をルアーヘッド1に取り付ける場合、強力な締付け力が付与されたテール被覆部31の開口を手指で拡開させることができないため、テール被覆部31をヘッド1後方からテール部4に直接的に装着することは困難であり、そのため従来は、まず、スカート30を裏返しにして、テール被覆部

2

31を先頭にスカート30をヘッド1前方に被せるようにし、次いで、テール被覆部31をヘッド1前方から側部3へと石鹼水等を利用して滑らせて被覆部31内径を拡開させた後、テール被覆部31をヘッド1後方にて段状に縮径するテール部4に落してテール部4を締め付けさせ、その後、裏返しのスカート30を元に戻すように吹き流し部32をヘッド1前方側からヘッド2後方側へと反転させるようにして装着していた。

【0005】

10 【発明が解決しようとする課題】しかしながら、スカート30をルアーヘッド1の前方から取り付ける場合であってもスカート30の取り付けは決して容易ではなく、時にはテール被覆部31が装着途中で裂けたりちぎれたりすることもあった。特に図4に示すような先端径が後方に比べ大きいルアーヘッド1'や、図5に示すような円柱状のヘッド1"の場合、スカート30の装着は非常に面倒であり、また、図1乃至図3に示すように、先端が斜めにカットされているルアーヘッド1の場合、スカート装着時にテール被覆部31をヘッド側部3に通す

20 際、テール被覆部31が側部下方3"側（図2参照）に比べ側部上方3'側の方が早く後方へと進むため、テール被覆部31の開口が斜めに拡開するようになって、テール被覆部31が裂ける場合が多かった。

【0006】なお、外径が比較的小さく、スカートをヘッド後方から直接的に取付け可能なグループテールも知られているが、この場合、テープ等によってスカートを固定する必要があるため、かえって装着作業に手間が掛かっている。

30 【0007】本発明は以上のような問題点に着目してなされたものであり、その目的はルアーヘッドに対するスカートの装着作業を容易なものとすることができるルアースカート装着用アダプターを提供することにある。

【0008】

【課題を解決するための手段】本発明に係るルアースカート装着用アダプター（以下、本欄において「本アダプター」という。）は、ルアーヘッドのテール部に対しスカートを装着する際に補助的に用いるアダプターであって、前方へ次第に縮径する円錐カップ状で定形性を有するアダプター本体を備え、このアダプター本体を前記ルアーヘッドの前方から当該ルアーヘッドに被せることによって固定的に接続可能としたことを特徴とする。

40 【0009】本アダプターの使用方法は、アダプター本体をルアーヘッドの前方から当該ルアーヘッドに同心状に被せて、アダプター本体をルアーヘッドに接続した後、従来のヘッド前方からのスカート装着工程と同様の工程をアダプター本体の上から行うものである。この際、アダプター本体は前方へ次第に縮径する円錐カップ状であるため、スカートのテール被覆部の開口をアダプター本体の頂部から通し、アダプター本体の側部によつてテール被覆部の内径を次第に且つ斜めになることなく

均等に拡大させて、ルアーヘッドの側部又は直接テール部へとテール被覆部を移し渡すことができる。従って、ルアーヘッドの前方がどのような形状であっても、本アダプターによってスカートの取付けが容易となる。

【0010】なお、本発明において「定形性を有する」とは、アダプター本体がテール被覆部の締付け力によって変形しない程度の強度を有する趣旨であり、そのためのアダプター本体の材質としては、硬質プラスチックや金属等を具体的に挙げることができる。

【0011】また、アダプター本体をルアーヘッドに接続させた状態において、アダプター本体の後端部とルアーヘッドの側部との境目に隙間や段が生じないことが最も望ましく、そのためには、アダプター本体後端部が規定する円形の開放部をルアーヘッドの側部の一部と同径としたり、アダプター本体の少なくとも後端部を薄肉とする等の工夫を施すことができる。

【0012】ルアーヘッドの形状等によってはアダプター本体がルアーヘッドをテール部を除いて覆うように接続させることができ（図4参照）、この場合、ヘッド後部の外周とアダプター本体の後端内径との間に多少隙間が生じる場合もある。

【0013】以上のようなアダプター本体を開放部等の径の異なる複数種類用意しておけば、多様な径や形状のルアーヘッドに対応させることができる。

【0014】本アダプターは、アダプター本体の頂部から後方へ当該アダプター本体と同心状に延長し、ルアーヘッドのリーダーライン挿通用穴に挿入可能な芯棒を更に備えていてもよい。

【0015】この芯棒をルアーヘッドのリーダーライン挿通用穴に挿入することによってアダプター本体とルアーヘッドの接続を一層確実で安定したものとすることができます。なお、アダプター本体とルアーヘッドの接続を芯棒のみが担うようにしてもよい（図5参照）。

【0016】

【実施例】以下、本発明の実施例を添付図面に基づいて説明する。

【0017】図1は、本発明に係るアダプター10をルアーヘッド1に接続させた状態を概略的に示す断面図である。アダプター10は、円錐カップ状のアダプター本体11と、アダプター本体11の頂部12から後方へ当該本体11と同心状に延長する芯棒20とからなる。なお、該図におけるルアーヘッド1は、図2に示すように先端が斜めにカットされたほぼ砲弾状の前部2と、外径が後方へと拡大する側部3と、段々状（ダブルテール）のテール部4と、テール部4の軸線に沿うものの側部3の中心からは外れるリーダーライン挿通用の穴5とを備える。

【0018】アダプター本体11は硬質プラスチック製で定形性を有するものであり、側部13が後端部14に向かって薄肉となると共に、側部13の外径が後方へ向

かって拡大した後、後端部14付近にて一定となり、後端部14が規定する開放部の径がルアーヘッド1の側部3の一部に合致するように設計される。なお、アダプター本体11はできる限り後端部14が後方に位置するようルアーヘッド1に被せることによってしっかりと固定される。

【0019】芯棒20は主に真鍮製のものであり、アダプター本体11の頂部12に設けたネジ孔12'に螺合可能な前端部21を介して、アダプター本体11に対し取付け取外し自在となる。また、芯棒20の後半部22は穴5に挿入される。

【0020】以上のように構成されたアダプター10は、芯棒20がなくともルアーヘッド1の前方からヘッド1にキャップ状に被せることによってヘッド1と固定的に接続可能であるが、この接続は芯棒20を穴5に通すことによって一層確実で安定したものとなる。

【0021】この状態から従来のスカート装着工程を実行することによって、容易にスカート30（図3参照）をテール部4に装着することができる。即ち、まず、スカート30を裏返しにして、テール被覆部31の開口を先頭にスカート30をアダプター本体11の頂部12及び心棒20の前端部21に通すようにし、次いで、テール被覆部31をアダプター本体11の側部13上を後方へと石鹼水等を利用して滑らせて被覆部31内径を拡開させた後、テール被覆部31をルアーヘッド1の側部3へと移し渡し、テール被覆部31をテール部4に落してテール部4を締め付けさせ、その後、裏返しのスカート30を元に戻すように吹き流し部32をヘッド前方からヘッド後方へと反転させるようする。なお、スカート30を元に戻す反転はテール被覆部31をテール部4に落す前の側部3上であってもよい。その後、アダプター10をルアーヘッド1から取り外すことにより、図3に示す状態となる。

【0022】以上のルアーヘッド1では、側部上方3'と側部下方3"とのテール部4の中心軸線（穴5）に対する傾斜割合あるいは距離（半径）が異なるが、アダプター10を取り付けることによって矯正することができる（図1参照）、これによって装着時にテール被覆部31の開口が斜めにならず、弾性的な拡開力が被覆部31の開口全体で平均的に作用するため、被覆部31が斜めに拡開する場合に比べ、被覆部31が破れる確率が低減する。

【0023】アダプターをルアーヘッドに接続させる様の他の例としては、図4及び図5に概略的に示すものを挙げることができる。図4ではアダプター本体11'の後端部14'がルアーヘッド1'の後端まで届き、アダプター本体11'がヘッド1'をテール部4'を除いて覆うように接続し、また、図5ではアダプター本体11"とルアーヘッド1"の接続は芯棒20"を穴5"に挿入することのみによって行われ、アダプター本体1

5

1" の後端外径はヘッド1" の前端外径と略一致している。

【0024】

【発明の効果】以上に述べたように、本発明に係るルアースカート装着用アダプターでは、拡開しにくいスカートのテール被覆部の開口を円錐カップ状のアダプター本体によって次第に且つ均等に拡開させてルアーヘッドへと移し渡すことができるため、従来大変面倒であったスカート装着作業を容易なものとすることができます。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明に係るアダプターをルアーヘッドに接続させた状態を概略的に示す断面図である。

【図2】図1のルアーヘッドの斜視図である。

【図3】ルアーヘッドに装着された状態のスカートを示す説明図である。

【図4】アダプターとルアーヘッドの接続状態の別の例を示す概略説明図である。

6

【図5】アダプターとルアーヘッドの接続状態の更に別の例を示す概略説明図である。

【符号の説明】

1, 1', 1" ルアーヘッド

3 ルアーヘッドの側部

4, 4' テール部

5, 5" リーダーライン挿通用穴

10, 10', 10" アダプター

11, 11', 11" アダプター本体

10 12 頂部

13 アダプター本体の側部

14 後端部

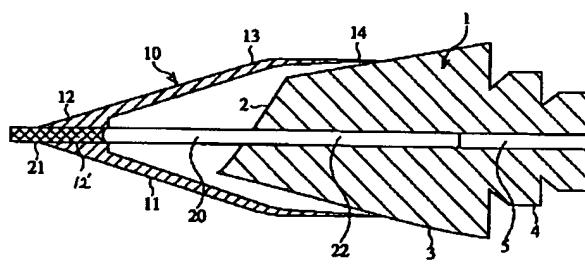
20 芯棒

30 スカート

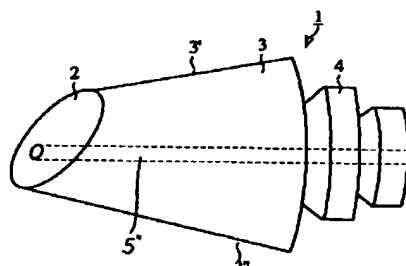
31 テール被覆部

32 吹き流し部

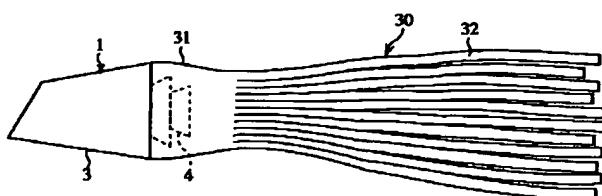
【図1】



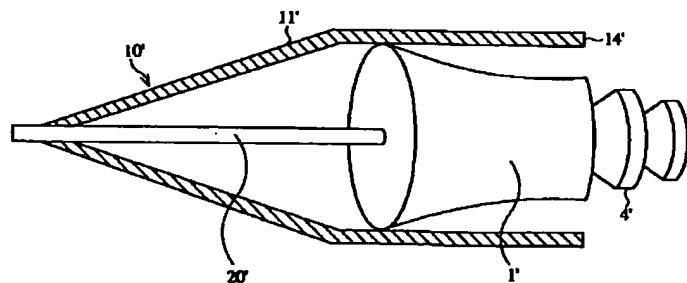
【図2】



【図3】



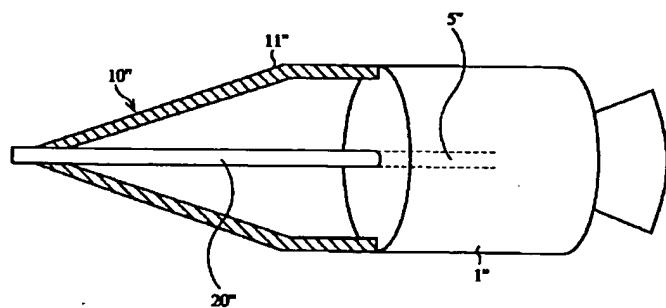
【図4】



(5)

特開平10-98984

【図5】



PAT-NO: JP410098984A
DOCUMENT-IDENTIFIER: JP 10098984 A
TITLE: ADAPTER FOR MOUNTING LURE SKIRT
PUBN-DATE: April 21, 1998

INVENTOR-INFORMATION:

NAME
UCHIUMI, KAZUO

ASSIGNEE-INFORMATION:

NAME	COUNTRY
KK SHINJIYUKU KYOIKU KAIKAN	N/A

APPL-NO: JP08254857

APPL-DATE: September 26, 1996

INT-CL (IPC): A01K085/00

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an adapter for mounting a lure skirt capable of facilitating the mounting of a skirt to a lure head.

SOLUTION: This adapter 10 auxiliarily used at the time of mounting the skirt 30 to the tail part 4 of the lure head 1 is provided with an adapter main body 11 in a conical cup shape to be gradually diameter-reduced to a front part 12 provided with a fixed shape property and a core rod 20 extended from the peak 11 insertable to the hole 5 for inserting a leader line of the lure head 1. After the adapter 10 is connected to the lure head 20 from the front part, the tail covering part 31 of the skirt 30 turned inside out is passed from the peak.

part 12, and after enlarging the inner diameter of the covering part 31 by a main body side part 13, the skirt 30 is transferred to a head side part 3 and mounted to the tail part 4.

COPYRIGHT: (C)1998, JPO